

# カセットボンベに起因する火災事例

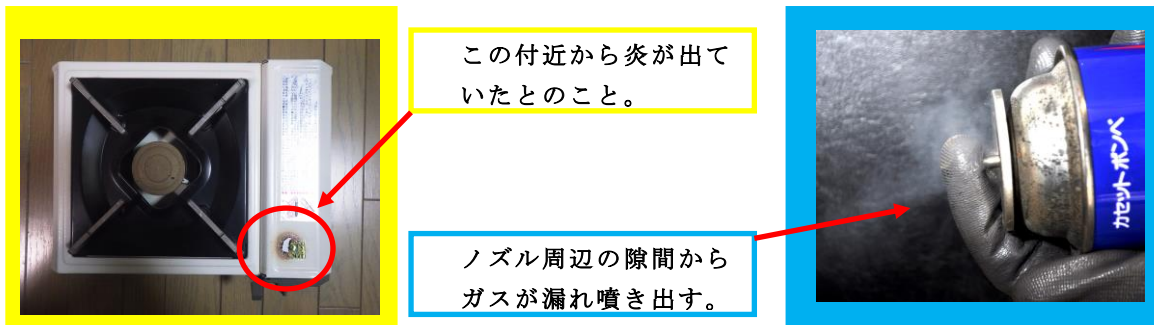
## 古くなったカセットボンベに注意！！

### 火災概要

本件火災は、食事準備のために、カセットこんろの五徳上に鍋を置き点火し温めていたところ、カセットこんろ保護カバー周辺から炎が出ていることを発見し、器具コックを閉止後にカバーを開けると、カセットこんろとカセットボンベの接続部付近から炎が出ていたものです。

カセットこんろは外観が非常に綺麗で、破損などはありませんでしたが、カセットこんろにセットしていた「カセットボンベ」は古いものでした。

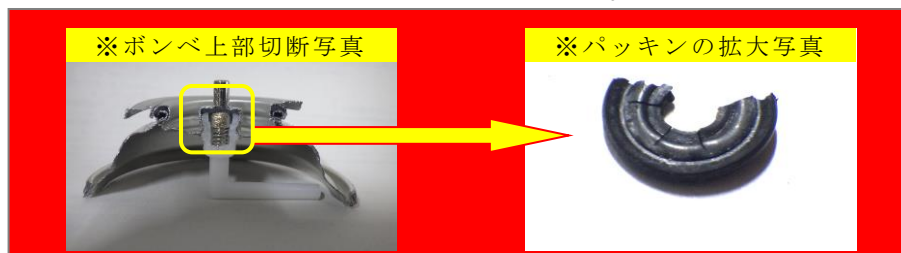
さらに、カセットボンベ先端の噴射口を指で塞ぎ押し込むと、ノズル(システム)周辺の隙間からガスが漏れ噴き出すことを確認しました。



### 原因概要

家人によると、カセットボンベは **10年以上前**に購入したとのこと。

カセットボンベの内部を調査すると、**内部のパッキンには経年劣化による亀裂**がありました。このことから、ガスこんろを使用している際に、カセットボンベのノズルにある**パッキンの亀裂の隙間からガスが漏れ**、バーナーの火に着火し火災に至ったとも考えられます。



### 類似火災抑止対策

古くなったカセットボンベは**経年劣化**により、使用すると**内部のガスが漏れ出して火災になる恐れがあります。**

《下記の項目に当てはまるカセットボンベはなるべく使用しないで下さい》

- **製造から約6年以上経過したもの。**(各メーカーにより異なります)  
(平成 25 年 10 月から、カセットボンベの製造年月日の表示が統一され、ボンベの底に「20181001」のような印字がされるようになりました。)
- **外観に変形や破損箇所等があるもの。**
- **使用中にガス漏れ等の異常を感じた場合は、直ぐに使用を中止してください。**

**火災が発生した場合は、直ぐに消防(119)へ通報してください。**